

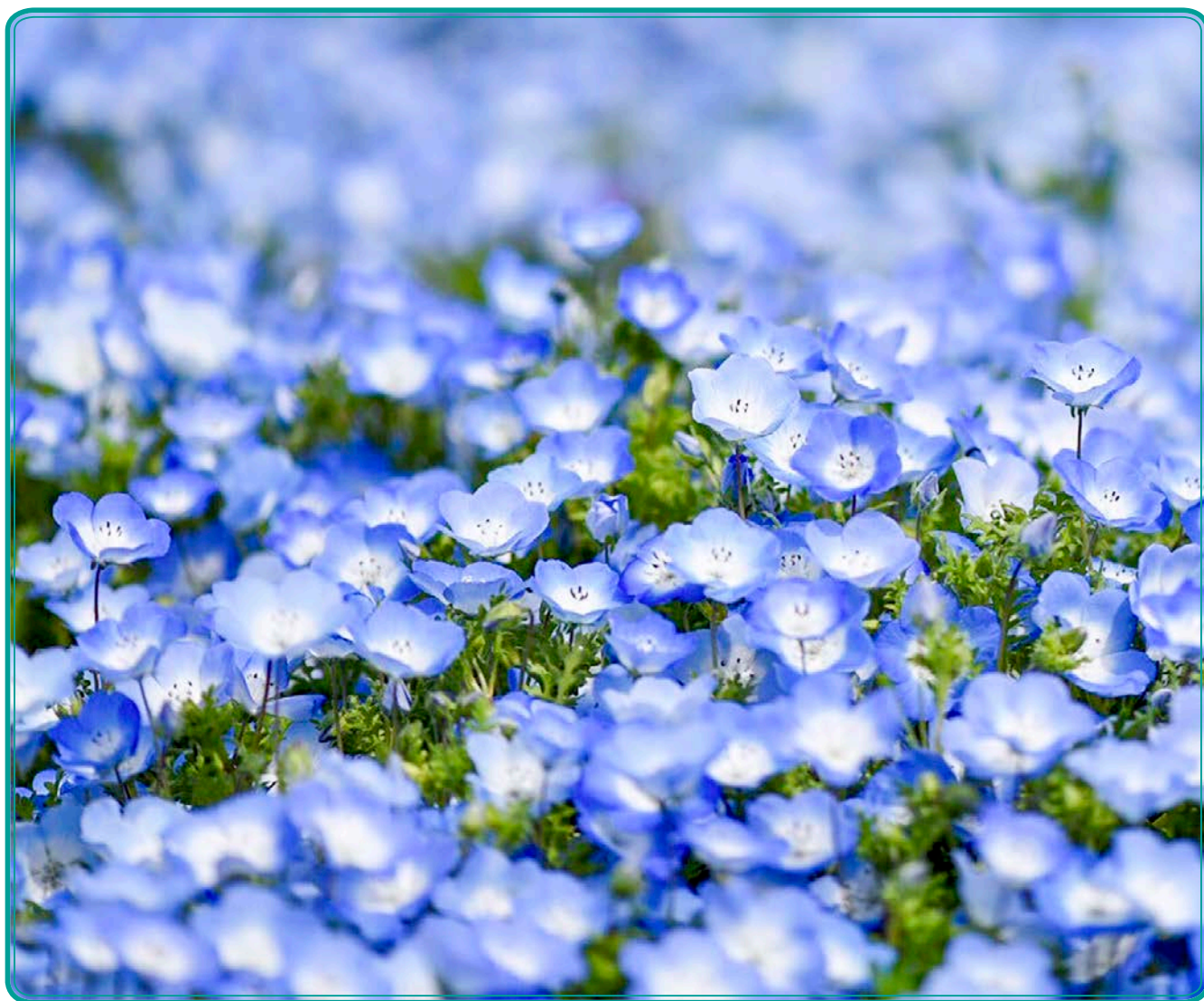
# 一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2024年4月  
第233号

## もくじ

報 告	2
各部局県士会活動案内・報告	5
お知らせ	10
編集後記	11



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : [t.kouketsu@asunarogroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunarogroup.jp)

### ◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.234 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月30日

No.235 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月30日

No.236 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月31日

No.237 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月31日

No.238 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月31日

No.239 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月28日

❖報 告❖

📦新年度！求！新入会



一般社団法人 千葉県理学療法士会  
会長 田中 康之

4月です！ 新人さんが職場に来る時期です。

千葉県理学療法士会はここ数年5,000人前後の会員数を行ったり来たり……。県内の養成校からは毎年沢山の理学療法士が輩出され、県内にも幾つも新しい病院・施設が出来てきている昨今、会員が6,000人を超えても良いのですが、会員数が伸びない。実は日本理学療法士協会としても新規入会の会員が激減していると聞いています。

これはどうにかしないとイケない。マズイ。

各職場の皆さまには、是非、新入職員の皆さんに県士会・協会への入会を推奨していただきたい！

その時の説明材料になるかもしれないと思い、今回は県士会員・協会員になる意義について私見を述べます。

以下の話は日本には理学療法士が15万人いると仮定します。

あなたが行政機関でいろいろな医療職の団体から何らかの「お願い」を受ける立場の人だと仮定します。その「お願い」の財源は貴重な税金で、そのお財布は他の職種からの「お願い」にも使われます。ある意味各職種の奪い合いです。

そんな中、理学療法士の団体の代表者が「お願い」にやってきました。その団体は15万人中3万人が加盟している団体です。その理学療法士は切々とお願いを述べます。しかも「私は15万人の理学療法士を代表して！」と熱弁をされています。

その時、貴方はどう考えますか？ 3万人は大きい数かもしれませんが、しかし、15万人の2割しかいません。熱弁を振るわれても2割の構成員で「15万人の代表」とは扱えないでしょう。もしかしたら他の8割の理学療法士は意見が違うかもしれませんが、然るに15万人の代表者とは扱えない。これが現実です。

では、仮にこれが12万人が加盟している団体の代表者であつたらいかがでしょうか？ 15万人の8割です。この状態で代表者が「私は15万人の理学療法士を代表して！」と熱弁をされたら、あなたは「15万人の代表」と考えても問題無いと考えるでしょう。ポイントはココです。

ある種、「数」は私たち自身を守り、権利を勝ち取るための「力」なのです。

県士会・協会に入ることによって何かを「してもらえる」ことがメリットと考えている人が多いように見受けられます。しかし、大事なものは「してもらえる」のではなく、自らを守り、勝ち抜くための「数」になっていることなのです。これこそが自分たちを守るメリットなのです。

さらに駄々っ子的な「お願い」では門前払いになるでしょう。やはり、そこには何らかの「根拠」が必要であり、それを集めて形にする人が必要です。会員が減ればそれをする人・金モノすらも危ぶまれてしまいます。

ほとんどの理学療法士は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービスの報酬により生業を得ています。これらの改訂がザックリとどのような流れで行われるのか、皆さんご存知でしょう。このためにも、最低限「数の力」そして「根拠」が必要なのです。勿論、「数」だけでは成し得ないことも多分にありますが、まず「数」がなければ先に進めないのが実際です。会員になるということは受動的に恩恵を受けるためではなく、能動的に身を守るためなのです。

学術的な学びの場、情報、人との繋がりがこれらに対して+αとして含まれて、1日当たり52円で成り立っていると理解をしていただきたいと思うのです。

如何でしょうか。

是非、皆さま新入職員の皆さんに職能団体の意義を伝え、入会を推奨していただければと思います。もし、自らの施設の職員にこういう話をして欲しいということがあれば、何なりとお声掛けください。WEB環境下になるかもしれませんが、可能な限り対応させていただきます。

皆さんで是非自らを守り、そして学ぶ機会を創造していきましょう。

## ☑話そう！つながろう！理学療法



第30回千葉県理学療法学会  
大会長 小林 好信

皆さま、はじめまして。第43回関ブロ・第30回千葉合同大会にて、第30回千葉県理学療法学会の大会長を拝命しました千葉医療福祉専門学校の小林好信と申します。本合同大会は、活気のある大会になることを目指して、対面開催の良さを前面に押し出した内容といたしました。

発表形式は、セレクション演題以外全てポスター発表といたしました。発表後にも、理学療法や研究の話題に大いにディスカッションが盛り上がるように、コーヒースタンドを設置する予定です。

「さっき質問したかったけど、聞けなかった！」

「あそこをもう少し詳しく説明して欲しい」

「自分も同じような研究をおこなっているから是非意見を聞いてみたい！」

「あの座長の先生と仲良くなっておきたい」など

色々理由はあるかと思いますが、会場の空いているスペースやコーヒースタンドを有意義にご活用いただければうれしいです。

これまで繋がることができなかつた方達と繋がり、そこで生まれる化学反応によって研究活動や日々の臨床活動がますます充実したものとなり、本合同大会が皆さまの人生に彩りを与える機会になることができたら幸いです。

我々ひとりひとりの理学療法士が、理学療法に向かい合うスタンスは様々であると思います。唯一無二の正解はありませんが、個々の背景やこれまでに培われた経験を基に提供される理学療法は、受け手にとっては一定の質が担保され、期待を上回るサービスであることが求められるはずで。とはいえ、自らの理学療法の磨きのかけ方も千差万別であり、日々の臨床でのブラッシュアップ、研修会に参加して知識と技術をアップデート、クリニカルクエスチョンをリサーチクエスチョンへと昇華……。これらを1人でコツコツと進めることもできますが、今回お伝えしたいのは「はやく行きたければ一人で進め。遠くまで行きたければみんなが進め」ということです。さらに加えるならば、「ワイワイとあーでもない、こーでもないと言いながら、時々立ち止まって酒盛りをしつつ（路上はダメですが……）、冗談を言い合いながら楽しく皆で遠くまで行けたらいいよね」ということです。遊び心を大事にしながらも、ド真面目に理学療法について語り合えたら良いですね。「趣味；理学療法」、「理学療法が生業」と言う熱いおじさん達が、若者と大いに語り合えたらおもしろいと思います。若手から、これまでの理学療法に一石を投じるような、革新的な意見を聞くことも未来のためには必要でしょう。自らが、これからの理学療法にどうやって関わっていくか、一緒に考えてみませんか？！

そのために、話しましょう！つながりましょう！



## 第29回千葉県理学療法学会を終えて

第29回千葉県理学療法学会

大会長 宮内 守



第29回千葉県理学療法学会は3月3日（日）国際医療福祉大学成田キャンパスにて予定通り開催され盛会のうちに終えることができました。

対面参加591名に加えオンデマンド参加497名で合計1,088名の方々に参加していただきました。これは会員5名に1名が参加していただいた計算になります。一般演題会場では会場に入りきれなくなり急遽会場を変更する事態も発生したほどでありました。

県士会員の皆さんの学術的な面の意識意欲の高さを垣間見る大会ともなりました。演題数も103演題にのぼり、若い会員の皆さんの活発なやり取りが目を引きました。発表された皆様からの報告は参加者に大いなる刺激となり発奮材料になりました。発表された皆様には厚く御礼申し上げます。

今回聴講された皆様におかれましては、来年度以降是非ご自身の取り組みをまとめて表出することに挑戦してみてください。その意欲はご自身を高めることにとどまらず、聴講した会員を通して千葉県域のリハビリテーション対象者に届きます。

基調講演の吉尾雅春先生はもとより、スペシャルシンポジウムにご登壇してくださりました国保旭中央病院の内村信一郎先生、東京湾岸リハビリテーション病院の井上靖悟先生、九十九里ホーム病院の林憲明先生、南房総市高齢者支援課の伊藤俊介先生、皆様からの報告もすべて明快であり、それぞれのシンポジストの役割と取り組みが会場に伝わるシンポジウムとなりました。さらに、生涯学習制度・ガイダンスにつきましては小林好信先生、報酬改定情報につきましては薄直宏先生・小川明宏先生からご説明をいただくことができました。

今大会は開会式から閉会式まで非常に多くの方々に参加していただきました。各自の関心事にとどまらず、大会全体に関心を示していただけたことに運営担当者として大変感銘を受けております。これも準備の段階から多くの皆様にご理解とご協力をいただいた賜であると思えます。そして、皆様のご協力により一体感ある大会とすることができました。ありがとうございました。感謝申し上げます。

次回は第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会と第30回千葉県理学療法学会の合同大会となり、今大会よりさらに活気のある大会となります。今大会のテーマは「点から線へ」であり、これは繋がりを意味します。29回大会の盛会を30回大会へ繋ぐことから、今回参加され収穫を得た、あるいは課題に気付かれた皆様におかれましては今の心境を薄らぐことなく是非次回大会の参加もご検討ください。今回諸事情で参加されなかった皆様におかれましては、ステップアップするきっかけ作りとなる学会大会への参加を是非ご検討ください。

次回大会での皆様の再会を祈念してご報告とご挨拶に代えさせていただきます。



## ❖各部局県士会活動案内・報告❖

### 📌生涯学習局 報告

#### 【生涯学習局について】

生涯学習局 局長 小林 好信

前期研修や実地研修の履修がなかなか進まない現状があります。施設代表者の皆さまには、施設に在籍する登録理学療法士未取得の会員の実地研修や前期研修の履修状況をご本人と一緒に一度ご確認いただければ幸いです。

社会に対して理学療法士の質を保証するための制度でもありますので、ぜひよろしくお願いたします。

#### 【卒前卒後教育連携推進委員会より】

生涯学習局 局次長  
卒前卒後教育連携推進委員会 委員長  
竹内 真太

卒前卒後教育連携推進委員会では、千葉県内の理学療法士養成校のネットワークを構築しています。1月末には、県内養成校の代表者による会議が開催され、2024年度の臨床実習指導者講習会の運営や、協会への入会促進の検討、学術大会への学生の参画などについて充実した議論が行われました。今後も、理学療法士の質の向上に寄与していくために、県内養成校と協力しながら事業展開を進めていきます。

#### 【前期研修部より】

前期研修部 部長 高原 剛

前期研修部では、2024年5月19日曜日に開催されます新人歓迎セミナーを企画しています。ご案内を養成校、施設宛に送らせていただきましたので、詳細な時間、内容などはご案内、千葉県理学療法士会HPをご確認ください。是非、職場や養成校の皆様に広報いただけたらと思います。日本理学療法士協会への入会、前期研修の履修促進のためにもお力添えいただくと幸いです。また、前期研修の現状の課題等を調査しながら、皆様の履修促進につながるよう尽力して参ります。

#### 【後期研修部について】

後期研修部 部長 池田 一樹

後期研修部では、2024年度の士会主催症例検討会（後期研修カリキュラムE：領域別事例）を6回（E-1：神経系、E-2：運動器系、E-3：内部障害系を各2回）開催予定です。後期研修履修中の方は、この機会に症例発表をご検討いただきますようお願いいたします。症例検討会に関する質問などございましたら、各ブロックのコアメンバー・後期研修部員に気兼ねなくご相談ください。また、千葉県理学療法士会ホームページの「登録理学療法士・生涯学習」→「後期研修」→「発表者募集」からも症例発表のエントリーを行うことができますので、是非ともよろしくお願いたします。

#### 【企画研修部より】

企画研修部 部長 室井 大佑

企画研修部では、2024年度の士会主催更新研修会を5回程度実施する予定です（データサイエンス、脳血管・脊損等）。昨年度は、ブロック単位でも研修会を実施していましたが、参加者が少なかつたため、今年度はすべて県士会主催として幅広く参加者を募集したいと思ひます。今年度も県士会員の皆様に有益な講習会が実施できるよう尽力いたします。引き続き、千葉県理学療法士会ホームページにアクセスし、「士会主催研修会」の情報を随時チェックするようになさってください。

### 📌学術局 報告

#### 【研究支援委員会より】

研究支援委員会 委員長 森下 勝行

令和5年度は、計7回の研究支援セミナーを開催いたしました。ご参加いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和6年度の研究支援セミナーは、WEBと対面の開催を計画しています。内容は、座学に加えて、座談会やワークショップ、ハンズオンセミナーなど多様なセミナーを企画しています。詳細が決定しましたら千葉県理学療法士会ホームページやメルマガなどでご案内いたします。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 【研究倫理委員会より】

研究倫理委員会 委員長 三 和 真 人

1月末までに研究倫理審査が2件進行しています。また、1件の申請手続きに関する問い合わせがありました。問い合わせ内容は、「研究計画書、同意書や撤回書の書式フォーマットがホームページからダウンロードできないのか」ですが、申請書以外は申請者の研究方法によって千変万化であり、基本的に個別に作成していただければよいものと考えております。

不明な点などがありましたら、ご遠慮なく相談ください。対応していきます。なお、令和6年度から、個別対応から相談日を設定して受けて行きたいと考えています。

以上です。どうぞ宜しくお願いします。

## 【理学療法士講習会推進委員会より】

理学療法士講習会推進委員会 委員長  
藤 井 顕

令和5年度の活動として、日本理学療法士講習会助成金事業となる千葉県理学療法士講習会を1件、千葉県理学療法士講習会推進委員会研修会を2件開催しました。多くの会員の皆様に参加いただきありがとうございました（開催概要は以下参照）。

令和6年度の開催が決まりましたら、日本理学療法士協会マイページの講習会・研修会情報よりご案内いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 【千葉県理学療法士講習会】

セミナー名称：臨床におけるコミュニケーション教育  
の一手法について

開催日：2023年12月16日（土）

講師名：薄直宏先生（東京女子医科大学八千代医療センター）、小島肇先生（社会医学技術学院）、堀光希先生（インプロバイザー）、黒木歩先生（グラフィックレコーダー）

## 【千葉県理学療法士講習会推進委員会研修会】

セミナー名称：臨床を豊かにする臨床運動生理学の基礎  
—運動に対する生体反応の科学とリスク管理—

開催日：2023年9月2日（土）

講師名：西田裕介先生（国際医療福祉大学・国際医療福祉大学成田病院）、河野健一先生（国際医療福祉大学）、竹内真太先生（国際医療福祉大学）

セミナー名称：心疾患の理学療法の地域連携

—シームレスな心疾患サポートの構築に向けて—

開催日：2024年1月21日（日）

講師名：小川明宏先生（東邦大学医療センター佐倉病院）、神崎慎也先生（東邦大学医療センター佐倉病院）、橋口広太郎先生（ハルミ訪問看護ステーション）、保坂香保里先生（東邦大学医療センター佐倉病院看護師）

## ☑️公益事業局 報告

### 【スポーツ現場サポートスタッフ養成セミナー開催報告】

スポーツ支援部 部長 大 山 隆 人

2024年2月4日に、公益事業局スポーツ支援部と障がい者スポーツ支援部共同で、『スポーツ現場サポートスタッフ養成セミナー』を開催しました。

このセミナー参加を経て、高校野球サポートや、マラソン大会サポート、千葉県障がい者スポーツ大会のサポートへ参加する資格を得ることが出来ます。



午前中は、船橋整形外科病院の岡田亨先生に御登壇いただき、『スポーツ現場での心得について』『BLSの実技』をご講義いただきました。惹き込まれる語り口に、沢山の学びがある時間となりました。

午後は、総論として『スポーツ・障がい者スポーツサポート事業の紹介』、各論として『頭部外傷』『熱中



症』『出血対応』、実技として『テーピング』『搬送法』を実施しました。学んでも、一人で急に現場に出ることはとても不安があるかと思います。支援部では、皆でサポートする場を設け、安心して活動する場も提供していければと考えています。スポーツや障がい者スポーツに関わってみたい方は、足掛かりとしてセミナーに参加していただいて、活動を共にしていただくと嬉しいです。

顔で楽しく会を行うことができました。

コロナ禍を経て、スポーツ支援部で行っていた投球障害予防教室も、数年行えていない現状でしたので、これを期に来年度は再開し、公益事業局の事業として県民・市民に関わっていただきたいと思います。千葉県士会員の皆様にも、是非、活動にご協力をいただければと思います。

### 【千葉県高校野球連盟主催ベースボールフェスティバル参加報告】

スポーツ支援部 部長 大山 隆 人

2024年2月18日に、千葉県高校野球連盟主催のベースボールフェスティバルが、浦安市民球場にて、**初めて開催**されました。これまでの高校野球サポート及び投球障害予防教室の実績より、今回のフェスティバルでは肩・肘の検診という形で、関わらせていただくこととなりました。

小学校高学年の野球経験者を対象に、姿勢・柔軟性・筋力・バランスの項目を理学検査し、結果についてフィードバックを行いました。自分自身の身体の状態を知ってもらおう一助になれたのではないかと思います。

約90名の子供達と触れ合うことができ、お互いに笑



### ☑️職能局 報告

#### 【労働安全衛生関連について】

職能局 局長 中村 亮 太

近年、労働災害による休業4日以上死傷者数は増加傾向にあり、特に60歳以上の高齢労働者での発生が増加しています。労働災害防止のため、労働者の身体機能の維持改善を目指した第14次労働災害防止計画(2023年～2028年の5か年)では、「理学療法士」が明記され、理学療法士の活躍に対する期待が示されました。

このような背景を踏まえ、日本理学療法士協会では「職場における腰痛予防宣言」事業をはじめ、「高齢労働者就労支援モデル事業」、「小売業と労働安全衛生モデル事業」などに取り組んでおります(詳細は協会HP)。

また、千葉県理学療法士会も昨年、「安全衛生支援及び千葉県+SAFE協議会運営推進アドバイザー」の指定を千葉労働局より受けました。アドバイザーとして、転倒や腰痛による労働災害防止のために、研修会の開催や小売店舗等の訪問を通じて、労働者の筋力やバランス能力・姿勢・動作方法等を確認し、作業特性に合った身体の使い方や運動等の助言・指導を行います。

今後、千葉県理学療法士会では、研修会や事例報告

会等を実施し、労働安全衛生に関心を持っていただけるよう活動していきます。その第一歩として、令和6年度に研修会を企画しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

〈研修会案内〉

テーマ

「労働安全衛生活動における理学療法士の関わりについて（仮）」

講師：三浦 創 氏（医療法人社団 輝生会）

開催日時：令和6年6月5日（水）19:00～20:30

開催形式：オンライン開催

※詳細・申し込み等は後日お知らせいたします。

## ☑一般社団法人千葉県理学療法士会

### ●令和5年度 第12回理事会 議事録

日時：令和6年1月12日（金）19時00分～20時45分

場所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦  
高橋 聡、藤井 顕、小川明宏  
松田 徹、高杉 潤、中村亮太  
三和真人、小林好信、森田悠介  
大住崇之、森下勝行、深田 亮  
竹内真太、渡辺政基

〈委任状〉川村雄輔、桑江 豊

〈監事〉西山晴彦、児玉美香、松川基宏

〈委員長〉内村 元

〈事務局〉奥村龍之

〈書記〉菊池俊明

#### 1 報告

##### 1) 会長報告

田中会長より12月8日から本日までの行動概要について報告された。

##### 2) 三役局長会議報告

令和6年1月8日に行われた三役局長会議にて議案調整等行われたことが報告された。

##### 3) 事務局報告

事務局より以下について報告された。

①県士会ニュースの2月号進捗

②理学療法士の職能団体のホームページリニューアル進捗

③会員向け郵送物 春号の進捗

④東葛北部ブロックでの協会アプリ、メルマガ配信トライアル

⑤令和5年度上期の会計監査について

⑥令和6年度予算案、活動計画の提出について

#### 4) 生涯学習局報告

生涯学習局よりブロック別の前期研修履修状況について報告された。

#### 5) 安全衛生活動支援・千葉県+SAFE協議会運営推進アドバイザー進捗について

職能局より安全衛生活動支援・千葉県+SAFE協議会運営推進アドバイザーの進捗について報告された。

#### 6) 日本理学療法士協会代議員選挙について

2024年1月より日本理学療法士協会代議員選挙が実施されることについて情報共有された。

2月12日代議員選挙立候補受付開始。2月19日正午代議員立候補受付終了。

千葉県士会の代議員数は代議員13名、補欠代議員4名の計17名。

#### 7) 研究支援委員会「研究支援セミナー動画コンテンツ」の配信について

県士会員の研究マインドの醸成や研究力の向上を目的に、研究支援委員会が開催している研究支援セミナーの一部の内容を動画配信することが報告された。

#### 8) 協会指定管理者（初級）研修の開催について

令和5年度協会指定管理者（初級）研修を以下のとおり開催することが報告された。

会 期：令和6年2月19日（月）19:00～

開催形式：WEB

参加対象・応募人数：千葉県理学療法士会会員80名程度

#### 9) 令和5年度中間監査報告について

監査方法の概要、監査結果、監査考察等について報告された。



なお、監査結果について、以下の2点が報告された。

- ①業務の執行は適正に行われているものと認める。
- ②会計は適正に行われているものと認める。

## 2 協議事項

### 1) 慶弔見舞規程について

慶弔見舞規程（案）について、一部修正のうえ多数の賛同を得たため、今後修正した規定で対応する。

### 2) 部長等規定の運用について

部長等規定の運用（案）について賛同を得たため、今後計画されたスケジュールに沿って進める。

### 3) 令和6年度理事会等諸会議日程について

令和6年度理事会等諸会議日程について賛同を得た。

## 3 審議事項

### 1) 令和5年度県POS連携推進委員会予算変更について

第3回理事会にて520,600円としていたものから、520,000円に再修正することについて賛成多数にて承認された。

### 2) 県士会行事への非協会員理学療法士の参加に関するについて

協会未加入の理学療法士が県士会活動に関心をもってもらい入会につなげることを目的として、令和6年度はモデル的に県士会事業への協会未加入の理学療法士の参加を認めることについて賛成多数にて承認された。

なお、事業は以下の2分類とし、①「入会促進を図るための事業」「理学療法士の交流を図ることを目的とした事業」については、県士会員と同額、同条件で参加を認めるものとする、②「県士会学術大会」「学術事業」「資格取得を目的とした事業」については、非協会の参加費は県士会員の倍額とし、参加費が5,000円に満たないものについては5,000円とすることが、賛成多数で承認された。

次回、令和5年度第13回理事会

日時：令和6年2月9日（金）

会場：WEB会議

## ●令和5年度 第13回理事会 議事録

日時：令和6年2月9日（金）19時00分～20時30分

場所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、竹内弥彦、高橋 聡  
小川明宏、藤井 顕、松田 徹  
高杉 潤、中村亮太、三和真人  
小林好信、桑江 豊、大住崇之  
森下勝行、深田 亮、竹内真太

〈委任状〉薄 直宏、川村雄輔、森田悠介  
渡辺政基

〈監事〉西山晴彦

〈委員長〉内村 元

〈事務局〉奥村龍之

〈書記〉菊池俊明

## 1 報告

### 1) 会長報告

田中会長より1月12日から本日までの行動概要について報告された。

### 2) 三役局長会議報告

2月5日に行われた三役局長会議にて議案調整等行われたことが報告された。

### 3) 事務局会議報告

事務局より以下について報告された。

- ①県士会ニュースの2月進捗
- ②会員向け郵送物 春号の進捗
- ③ホームページリニューアル進捗
- ④東葛北部ブロックでの協会アプリ、メルマガ配信トライアル進捗
- ⑤1月22日地域活動支援本部会議報告
- ⑥1月31日卒前卒後教育連携推進委員会報告
- ⑦代議員総会日程確定（2024年6月23日）
- ⑧令和6年度事務局予算案、活動計画
- ⑨慶弔規定の適応振り返り

## 4) 公益事業局報告

- ①推進リーダー研修進捗状況について
- ②介護予防推進部の部員退部について
- ③在宅医療・介護支援部の部員増員について

## 5) 部長・委員任命に関する事務手続きについて

規定に基づき、任命までの流れについて報告された。

## 6) 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会報告

第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会のスケジュール等について報告された。

## 7) 第29回学術大会の進捗・参加促進協力依頼

2月5日現在の参加登録状況等について報告された。引き続き、参加協力を依頼する予定。

## 8) 職能局 推進アドバイザーについての進捗

安全衛生活動支援・千葉県+SAFE協議会運営推進アドバイザーについての進捗について以下のとおり報告された。

日時は令和6年1月22日(月)14:00~。

労働基準監督署が主催する説明会への講師派遣。講師は中村亮太理事。

参加者は小売業において災害防止等の安全管理を担当するもの13名。

## 2 協議事項

### 1) 2024年度新歓セミナーの開催日程と内容について

登録理学療法士までの履修状況が低いことから、今年度は新たな取り組みとして生涯学習制度について説明する時間等を多く配分することを協議された。

## 3 審議事項

### 1) 臨床実習指導者講習会の世話人認定者について

臨床実習指導者講習会世話人認定申請のあった以下の4名について、賛成多数にて承認された。

深谷 泰山 (城西国際大学)

小針 友義 (帝京平成大学)

新井 恭兵 (五井病院)

中川 慎也 (新八千代病院)

(敬称略)

次回、令和5年度第14回理事会(拡大)

日時: 令和6年3月8日(金)

会場: 千葉市文化センター(ハイブリッド開催)

以上

## ❖お知らせ❖

# 選挙管理委員会よりお知らせ

## 所属先が変わられた方は会員情報変更をお願いします

選挙管理委員会 内村 元

2024年10月から2025年1月にかけて千葉県士会の第8回役員選挙と第5回代議員選挙が予定されています。

立候補の資格は選挙の公示日(2024年10月1日予定)に千葉県士会会員として千葉県士会事務局で登録が確認されている事、会費が納入されていることが必要となります。

また、投票用紙は会員情報の登録先に送付いたします。

新年度になりまして所属先が変わられた会員の方は会員情報の更新をお願いします。

会員登録内容が正しくありませんと理事・代議員に立候補されましても立候補の受付ができません。

また、投票用紙もお手元に届かないことになります。

異動届など会員登録内容の変更は日本理学療法士協会のマイページから申請となります。千葉県士会に連絡が来るまでに日にちがかかることがありますので、早めの変更をお願いします。

## ❖ 編集後記 ❖

### ●ホッとしました

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

日に日に暖かさが増してきていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今号は第30回千葉県理学療法士会学術大会大会長の小林先生から第30回大会について、第29回千葉県理学療法学術大会大会長の宮内先生から第29回大会の報告がありました。

第29回大会は大会長の報告にもありましたが対面・オンデマンドでの参加者が過去1番の参加数という事もあり記録に残る大会になり、広報局を務めた私とし

ましては、とても安堵いたしております。

事前参加登録締め切りの1ヶ月前でも参加登録者数の伸びは低調で、このままでは対面参加を再開したばかりの前回大会を下回ってしまうのではないかと、とても不安でした。大会参加人数は広報局の責任と広報局員にハッパをかけSNSでの情報発信も頻繁におこなっていきました。2月に入り登録締め切り間近になり参加登録者数がうなぎ上りに増え、結果として前回大会の参加者数を上回ることができ、とてもホッといたしました。第29回千葉県理学療法学術大会に参加してくださった皆さま、本当にありがとうございました!!

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

次回のニュース原稿の締め切りは  
令和6年4月30日です!

## 千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ  
<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



### 問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ  
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ  
[chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)
- ニュース編集部  
部長 纈 琢 磨  
[t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会  
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1  
千葉中央ツインビル1号館1005号室  
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066  
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail [chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)

編集部 部長 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会  
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1  
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684  
Mail [t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)